

報道関係者各位

韓国の昭和レトロ ニュートロ展 展示会開催のご案内

韓国文化院では、現在、韓国の大衆文化において最大の流行となっている「ニュートロ」文化を紹介する「韓国の昭和レトロ ニュートロ」展を開催する運びとなりました。

「ニュートロ」(NEWTRO)とは、現在の20-30代にあたるMZ世代のNEW Generation(新世代)が楽しむRETRO(レトロ)という意味から生まれた流行語です。本展示会ではニュートロ文化が流行した背景にドラマ・映画などのマスメディアと、MZ世代の存在があることを説明します。また、復古風の街として有名なソウルの益善洞(イクソンドン)と乙支路(ウルジロ)の現在の様子を写真とレトロなアイテムを使って紹介します。さらに、ソウルの大学路(デハッロ)に現存する喫茶店「学林茶房(ハクリムダバン)」をモチーフに、当院が所蔵する70-80年代の韓国のレコードを用いて、レトロなLPカフェ(レコード喫茶)を再現します。

また、展示会の開催を記念し、韓国のレトロな雰囲気が感じられる映画作品「セシボン」と「サニー 永遠の仲間たち」のオンライン上映会も会期中に実施する予定です。

つきましては、本イベントの周知にご協力いただけますようお願いいたします。資料のご依頼、取材のお申し込みは、韓国文化院までご連絡下さいますようお願い申し上げます。



【イベントの概要】

- 会期：2022年4月18日(月)～5月7日(土) 10:00～17:00
※休館日：日曜日、祝日
- 会場：韓国文化院ギャラリーMI ◆入場無料
〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-4-10
- アクセス：地下鉄 東京メトロ丸ノ内線「四谷三丁目」駅
1番出口より新宿方面徒歩3分
- 展示内容：韓国においてニュートロ文化が流行した背景及び復古風の街として有名なソウルの益善洞や乙支路を紹介。レコード喫茶などを再現し、韓国のレトロな雰囲気を実際に味わっていただける体験型展示会。
- 主催：駐日韓国大使館 韓国文化院

「お問い合わせ」 駐日韓国大使館 韓国文化院 ☎03-3357-5970 www.koreanculture.jp
イベント担当 河聖煥(ハ・ソンファン) / 広報担当 趙恩京(ジョ・ウンギョン)

【韓国の昭和レトロ ニュートロ展 展示計画】(仮)

主題	主な内容
I. ニュートロ展の用語説明	- 復古、レトロ、ニュートロなど展示で使われる用語を説明
II. ニュートロの流行理由 (1) マスメディアの影響	- 映画・ドラマなどのマスメディアによってニュートロ文化が流行したことをポスター・CMなどで紹介 - 韓国のレトロ街として有名な益善洞(イクソンドン)と乙支路(ウルジロ)を紹介 - レトロな焼肉街、チキン街などを再現したフォトゾーンを設置 - 復刻版やレトロ風のパッケージで発売された商品を紹介
III. ニュートロの流行理由 (2) MZ世代の影響	- 現在の20-30代にあたるMZ世代が実際に70-80年代を体験していないにも関わらず、レトロがブームとなった背景を紹介
IV. 復古風LPカフェの再現	- 大学路(デハッロ)に現存する学林茶房(ハクリムダバン)のようなLPカフェ(レコード喫茶)を演出 - 韓国文化院が所蔵する70-80年代のレコードを紹介

【同時開催イベント - オンライン韓国映画特別上映会】

展示会の開催を記念し、韓国のレトロな雰囲気を感じていただける2つの映画作品をオンラインにて上映します。**すべての作品は字幕付き、無料上映**です。

※観覧には事前申込が必要です。各回500名を招待(定員を超えた場合は抽選)

※事前申込は韓国文化院HPの応募コーナーにて(無料会員登録が必要)

上映作品及び観覧概要	
 <p>© 2015 CJ E&M Corporation, All Rights Reserved</p> <p>그 시절, 우리는 사랑할 노래했다</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品名 : セシボン ・ 内容 : 1970年代、韓国音楽界にフォーク旋風を巻き起こした音楽喫茶『セシボン』を舞台に実在するフォークミュージック界の伝説的デュオの誕生と淡い恋の物語を描いた作品。 ・ 視聴可能日時 : 4.19 (火) 18:00~22:00 ・ 応募締切 : 4.13 (水)
 <p>© 2011 CJ E&M Corporation, All Rights Reserved</p> <p>가장 친란한 순간, 우리는 하나였다</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作品名 : サニー 永遠の仲間たち ・ 内容 : 25年前の仲良し少女7人組の友情、現在の彼女たちの再会を感動的に描き、韓国で大ヒットした作品。 ・ 視聴可能日時 : 4.27 (水) 18:00~22:00 ・ 応募締切 : 4.20 (水)

«お問い合わせ : 韓国文化院 河・趙 ☎03-3357-5970 ✉ postmaster@koreanculture.jp »